

2. 交通安全対策について

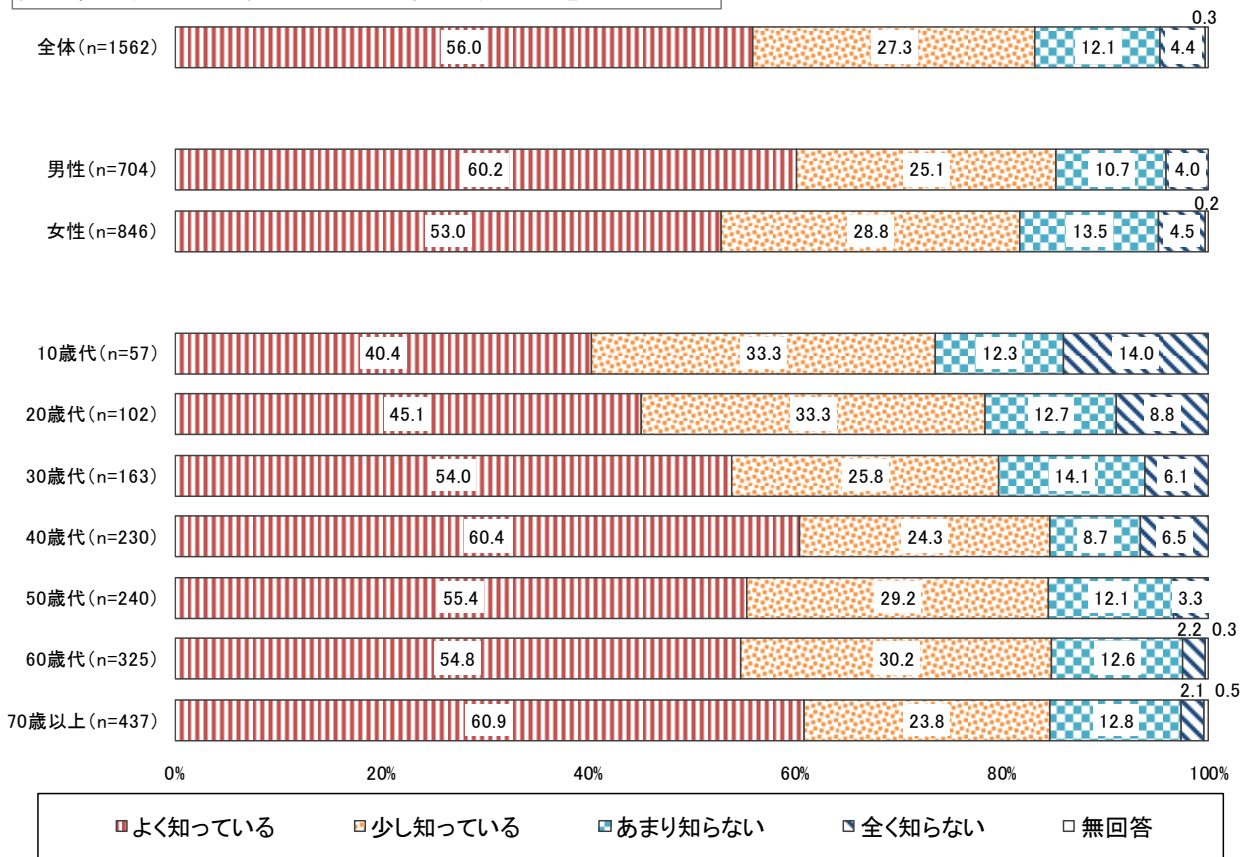
問6 松阪市は他自治体に比べて交通事故が多いことを知っていますか。(〇は1つだけ)

「よく知っている」が56.0%と最も高く、ついで「少し知っている」が27.3%、「あまり知らない」が12.1%となっている。

性別にみると、男性の方が女性よりも「よく知っている」が高く、60.2%となっている。

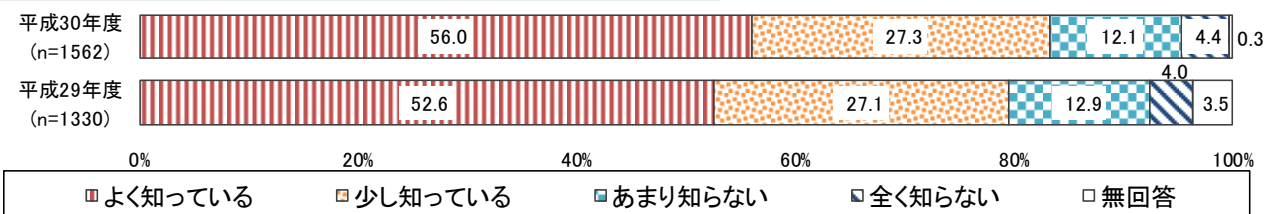
年代別にみると、いずれの年代においても「よく知っている」が最も高くなっている。ただし、10歳代から30歳代では「あまり知らない」「全く知らない」も他の年代よりもやや高く、2割を超えている。

問6 松阪市が他自治体と比べて交通事故が多いことを知っているか



前回と比較すると、知っている（「よく知っている」「少し知っている」の合計）人の割合がやや増加している。

問6 松阪市が他自治体と比べて交通事故が多いことを知っているか



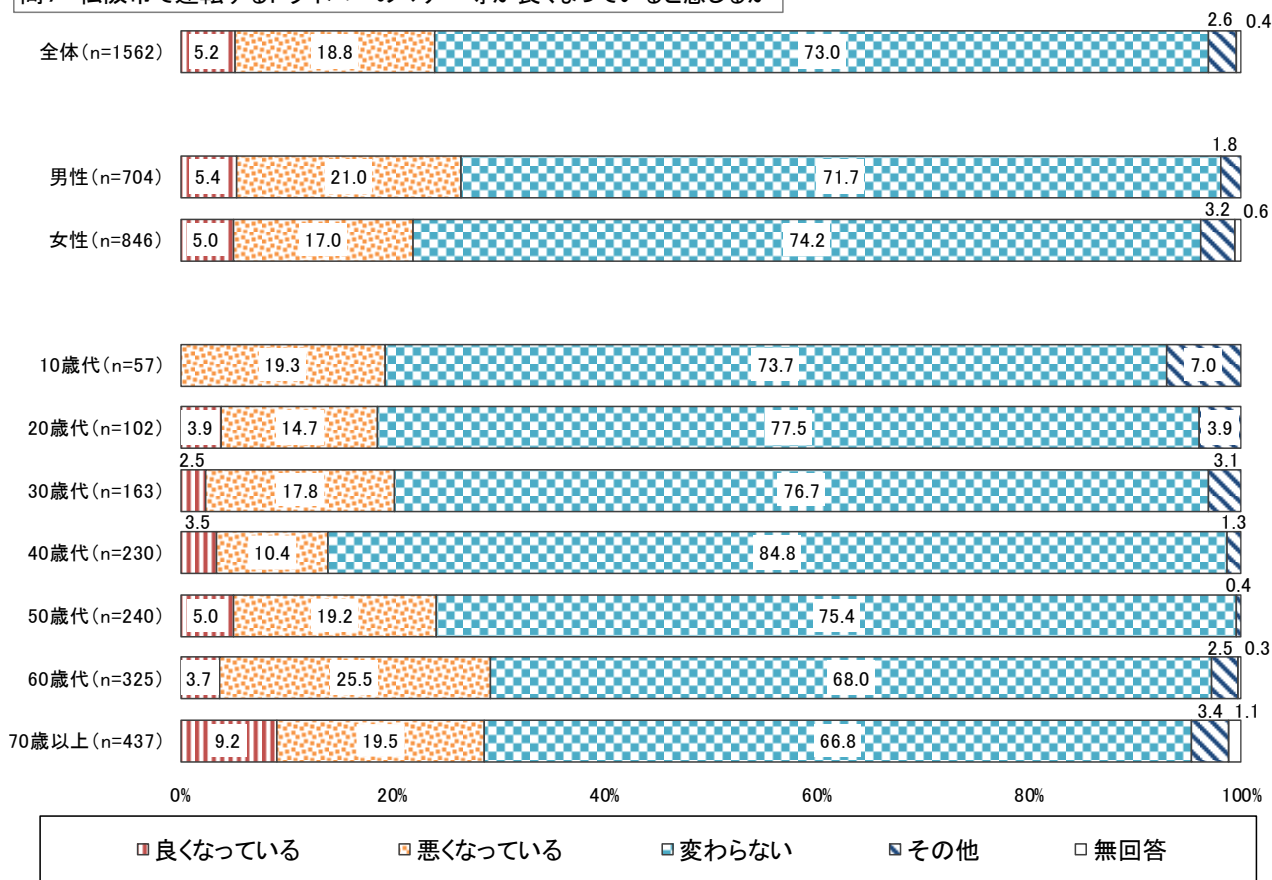
問7 松阪市で運転をするドライバーの交通ルールの遵守やマナーなど、最近良くなっていると感じたことがありますか。(〇は1つだけ)

「変わらない」が73.0%と最も高く、ついで「悪くなっている」が18.8%、「良くなっている」が5.2%となっている。

性別にみると、男性で「悪くなっている」が女性よりもやや高く、21.0%となっている。

年代別にみると、いずれの年代においても「変わらない」が最も高くなっている。また、70歳以上では「良くなっている」が他の年代よりも高く、9.2%となっている。

問7 松阪市で運転するドライバーのマナー等が良くなっていると感じるか

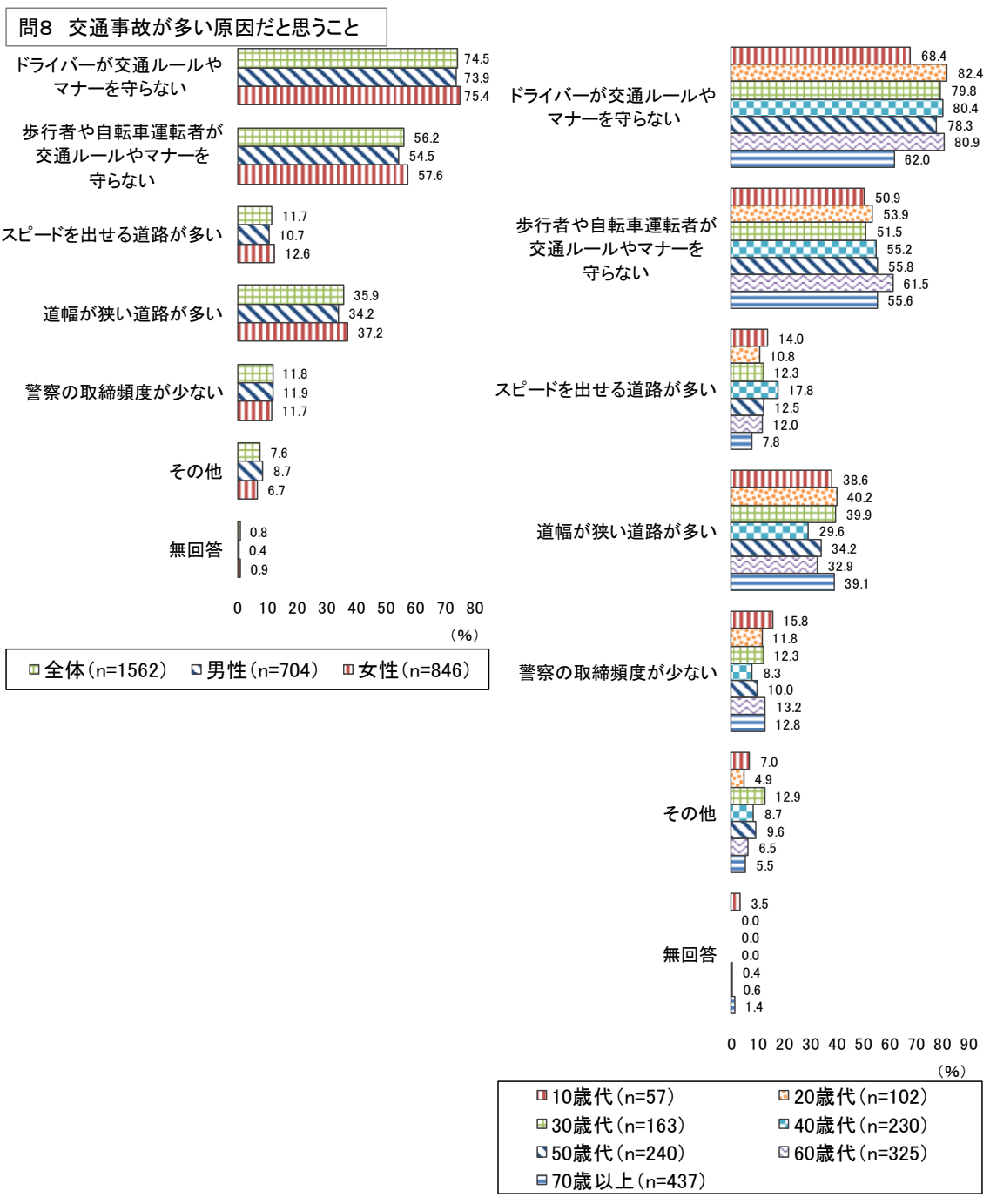


問8 松阪市で交通事故が多い原因は何だと思いますか。(〇はいくつでも)

「ドライバーが交通ルールやマナーを守らない」が74.5%と最も高く、ついで「歩行者や自転車運転者が交通ルールやマナーを守らない」が56.2%、「道幅が狭い道路が多い」が35.9%となっている。

性別にみると、「ドライバーが交通ルールやマナーを守らない」は女性の方が男性よりもやや高くなっているが、性別による大きな差はみられない。

年代別にみると、「ドライバーが交通ルールやマナーを守らない」が10歳代と70歳以上で他の年代よりも低くなっており、いずれも7割未満となっている。



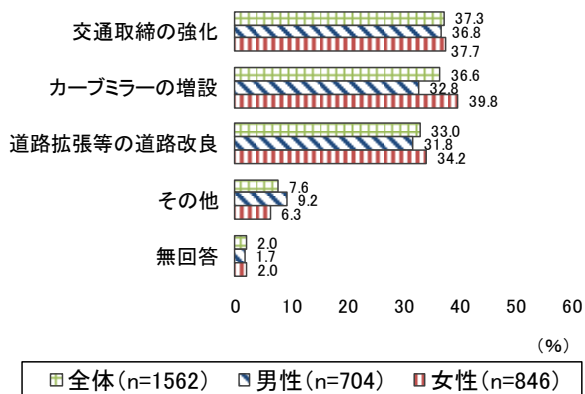
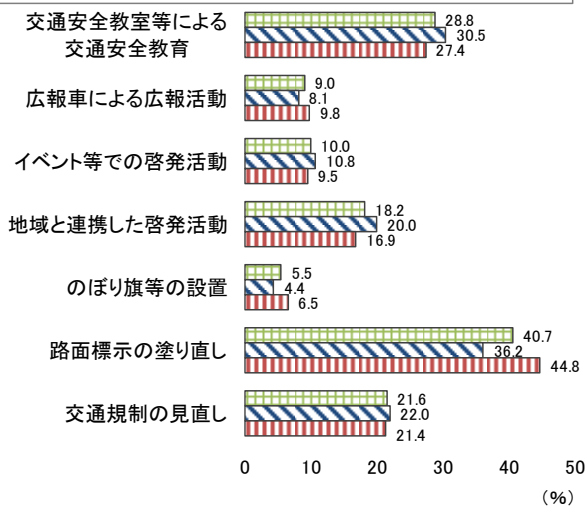
問9 交通事故を減らすためには、どのような活動が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

「路面標示の塗り直し」が40.7%と最も高く、ついで「交通取締の強化」が37.3%、「カーブミラーの増設」が36.6%となっている。

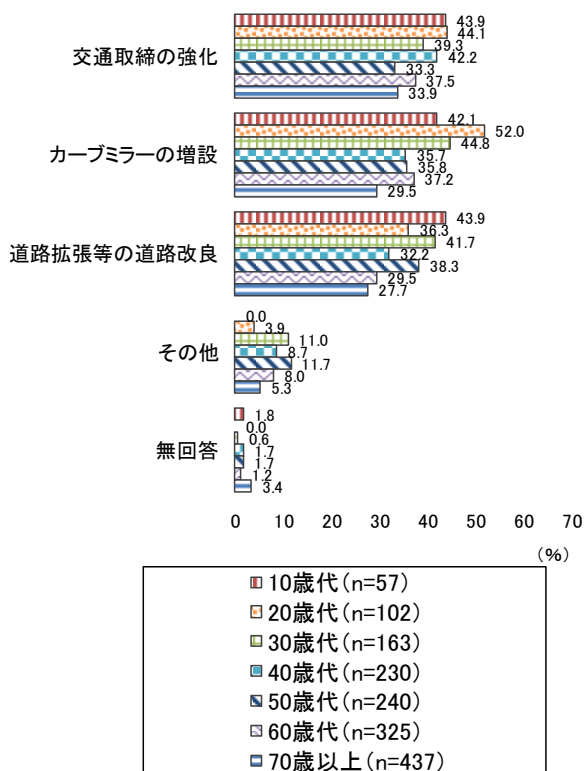
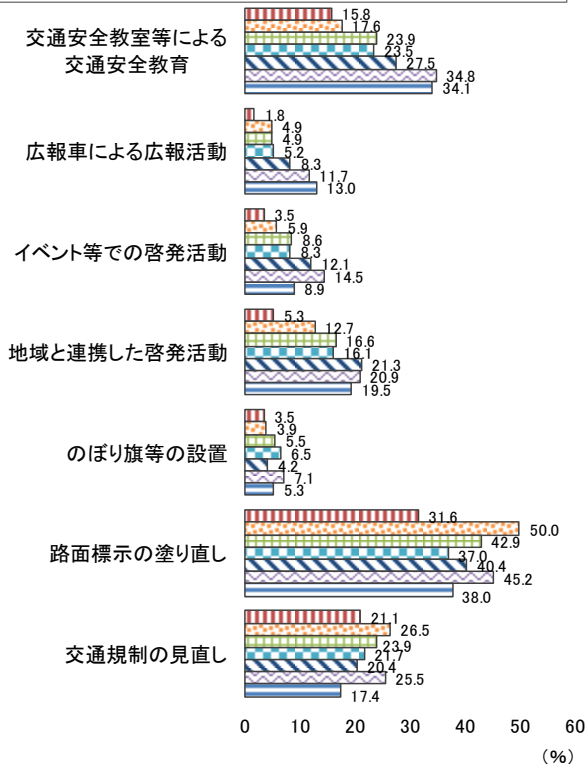
性別にみると、男性では「交通取締の強化」が最も高くなっているが、女性では「路面標示の塗り直し」が最も高くなっている。

年代別にみると、10歳代では「交通安全教室等による交通安全教育」が15.8%であるが、60歳代以上では3割を超えており、年代が上がるにつれて高くなる傾向がみられる。

問9 交通事故を減少させるために必要だと思う活動



問9 交通事故を減少させるために必要だと思う活動



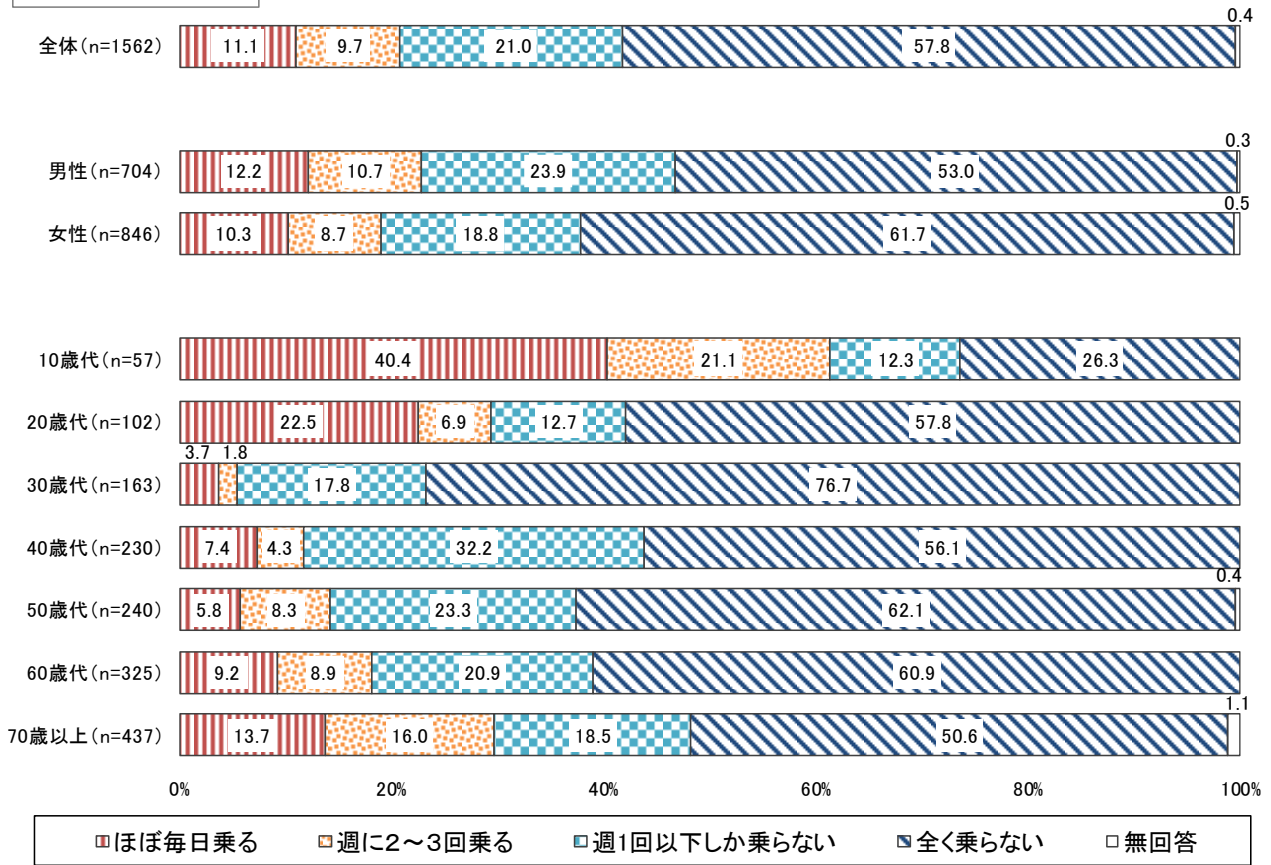
問10 あなたは自転車に乗りますか。(〇は1つだけ)

「全く乗らない」が57.8%と最も高く、ついで「週1回以下しか乗らない」が21.0%、「ほぼ毎日乗る」が11.1%となっている。

性別にみると、女性の方が「全く乗らない」が高く、61.7%となっている。

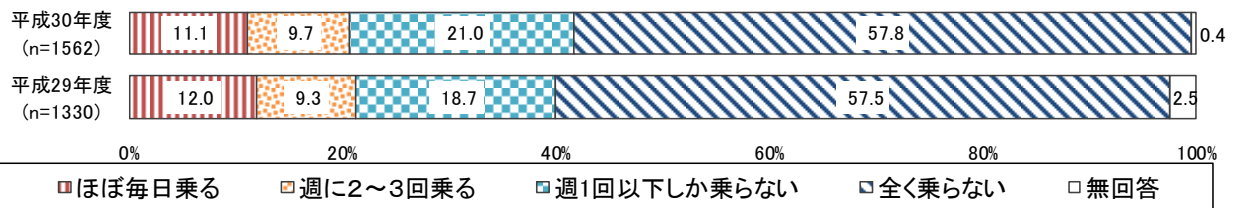
年代別にみると、10歳代を除く年代において「全く乗らない」が最も高くなっている。また、10歳代、20歳代では「ほぼ毎日乗る」が高くなっているが、30歳代では3.7%となっている。その後再び「ほぼ毎日乗る」が増加していき、70歳以上で1割を超えている。

問10 自転車に乗るか



前回と比較すると、「週1回以下しか乗らない」がやや増加しているが、年度による大きな差はみられない。

問10 自転車に乗るか



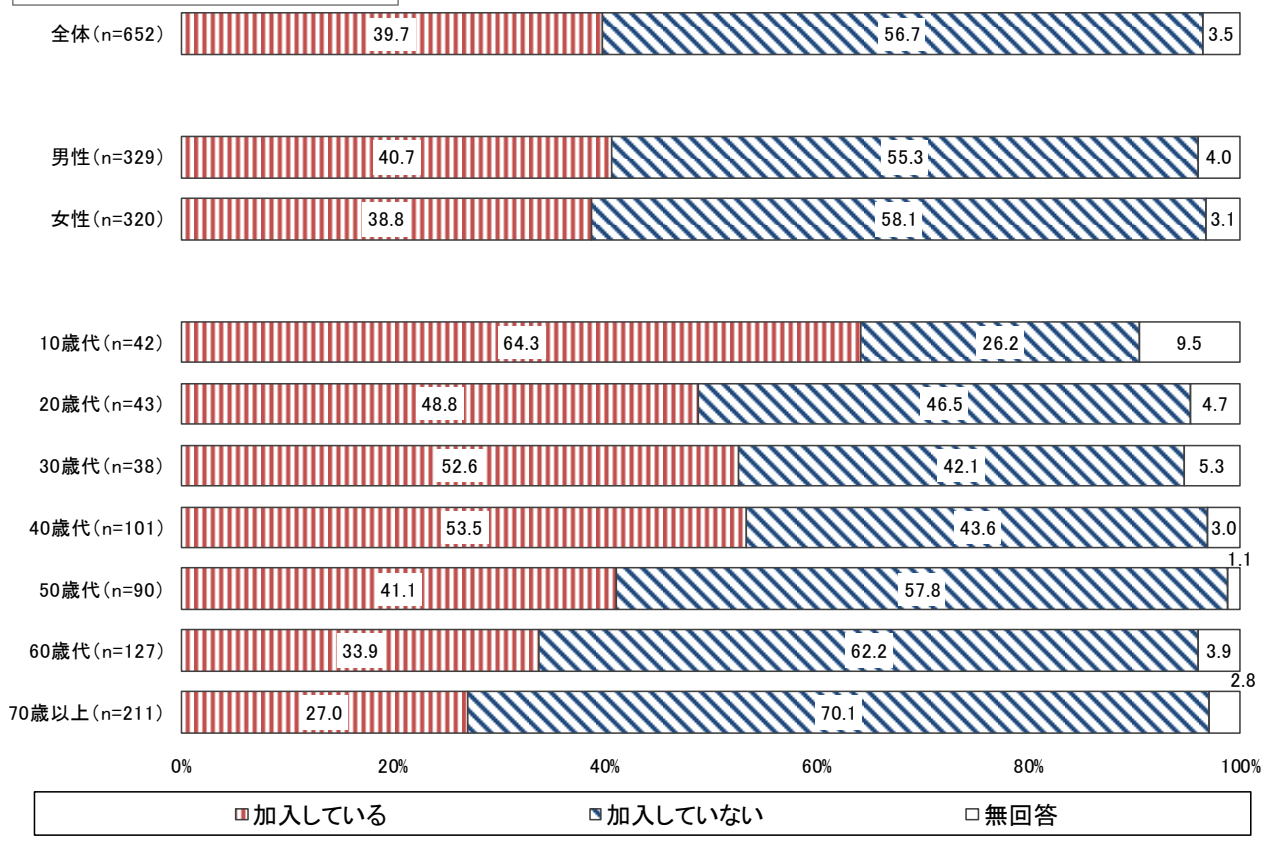
問11 あなたは現在自転車保険に加入していますか。(〇は1つだけ)

「加入していない」が56.7%、「加入している」が39.7%となっている。

性別にみると、男性の方が女性よりも「加入している」がやや高くなっているが、性別による大きな差はみられない。

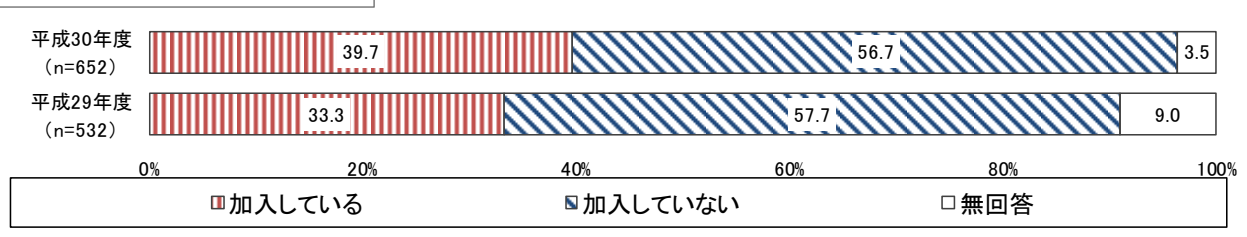
年代別にみると、10歳代では「加入している」が64.3%で他の年代よりも高くなっている。また、20歳代から40歳代では「加入している」が5割前後となっているが、40歳代以降、「加入している」は徐々に減少していき、70歳以上では3割未満となっている。

問11 自転車保険に加入しているか



前回と比較すると、「加入している」が5ポイント以上増加しており、39.7%となっている。

問11 自転車保険に加入しているか



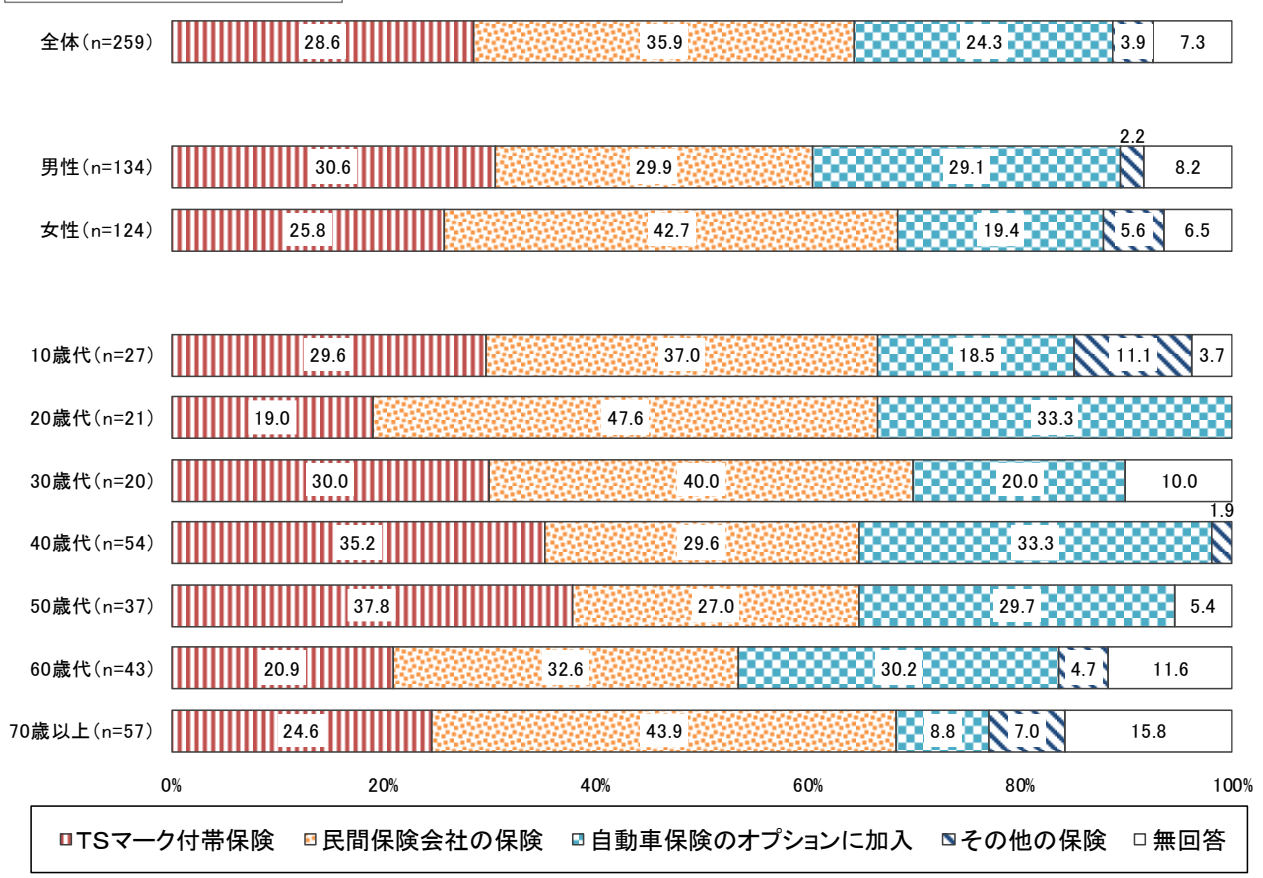
問 11-1 自転車保険に加入している方は保険の種類もお選びください。

「民間保険会社の保険」が 35.9%と最も高く、ついで「TSマーク付帯保険」が 28.6%、「自動車保険のオプションに加入」が 24.3%となっている。

性別にみると、女性では「民間保険会社の保険」が 42.7%で男性よりも 10 ポイント以上高くなっている。一方で「自動車保険のオプションに加入」は男性の方が女性よりも 10 ポイント程度高く、29.1%となっている。

年代別にみると、40 歳代、50 歳代では、「TSマーク付帯保険」が最も高くなっているが、その他の年代では「民間保険会社の保険」が最も高くなっている。

問11 加入している保険の種類



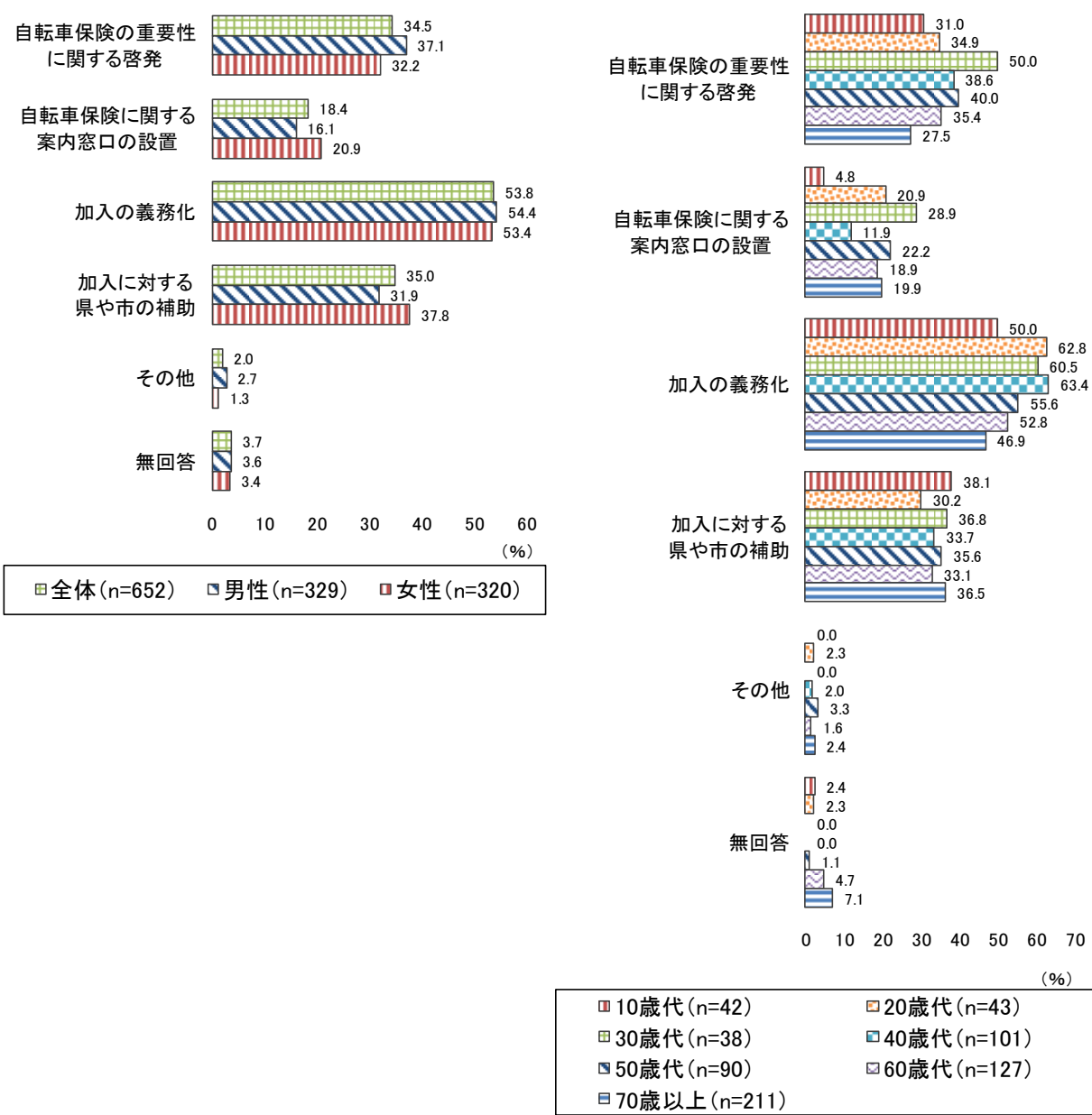
問 12 自転車保険への加入を促進するためには、どのような施策が必要だと思いますか。
(〇はいくつでも)

「加入の義務化」が53.8%と最も高く、ついで「加入に対する県や市の補助」が35.0%、「自転車保険の重要性に関する啓発」が34.5%となっている。

性別にみると、男性・女性ともに「加入の義務化」が最も高くなっている。ついで、男性では「自転車保険の重要性に関する啓発」、女性では「加入に対する県や市の補助」が高くなっている。

年代別にみると、いずれの年代においても「加入の義務化」が最も高くなっている。ただし、40歳代以降、年代が上がるにつれて徐々に減少していき、70歳以上では46.9%となっている。

問12 自転車保険の加入促進のために必要だと思う施策

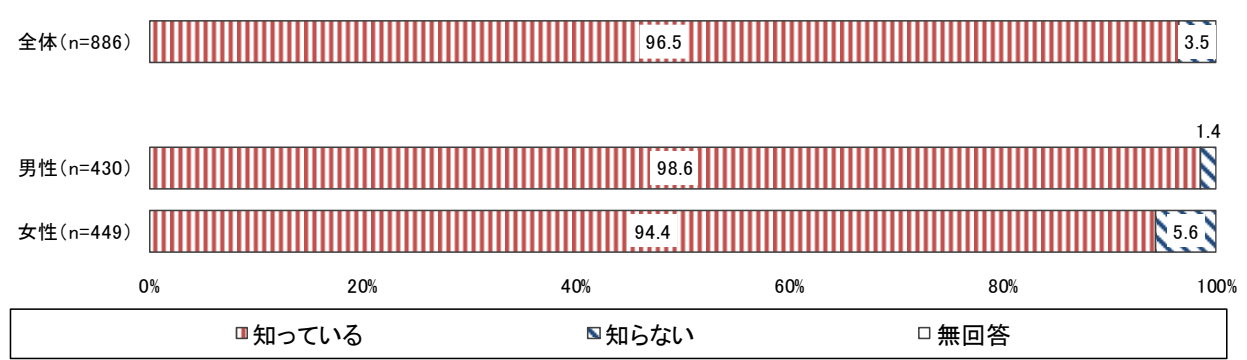


問13 運転免許証自主返納制度を知っていますか。(〇は1つだけ)

「知っている」が96.5%、「知らない」が3.5%となっている。

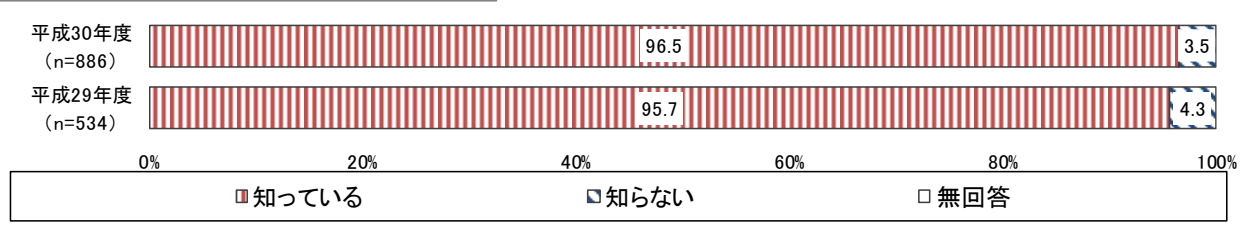
性別にみると、男性の方が女性よりも「知っている」がやや高くなっているが、性別による大きな差はみられない。

問13 運転免許証自主返納制度を知っているか



前回と比較すると、「知っている」が僅かではあるが増加している。

問13 運転免許証自主返納制度を知っているか

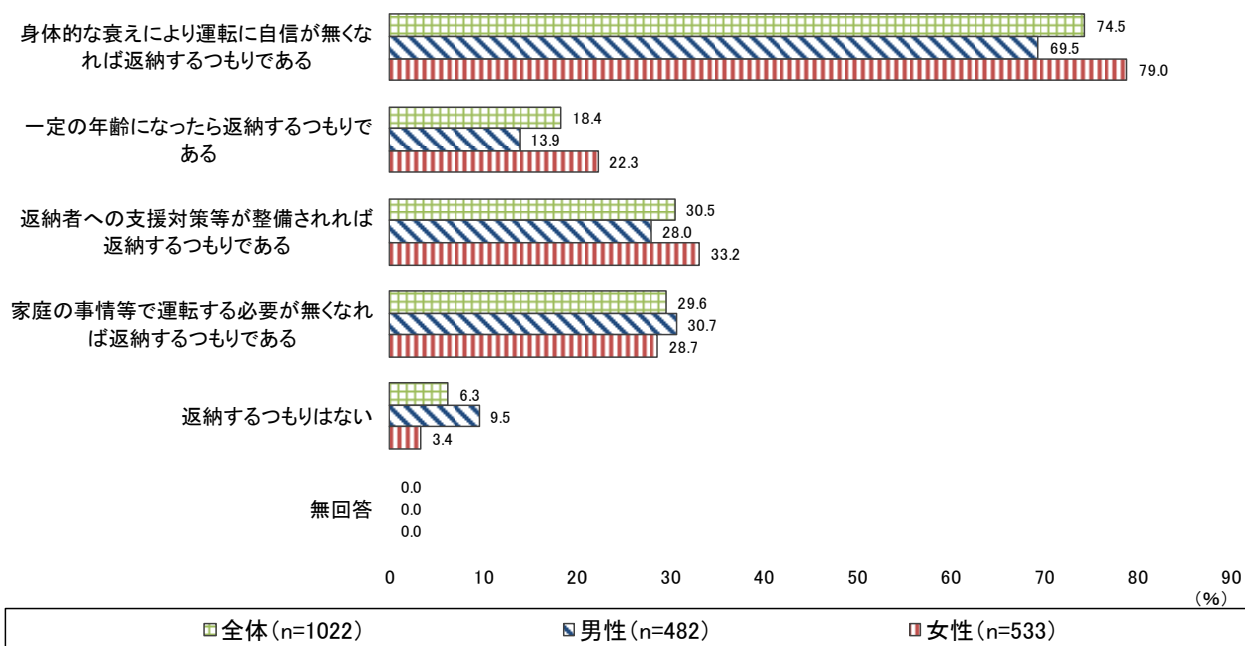


問 14 あなた（又はそのご家族の方）は将来的に自主返納するつもりはありますか。（〇はいくつでも）

「身体的な衰えにより運転に自信が無くなれば返納するつもりである」が74.5%と最も高く、ついで「返納者への支援対策等が整備されれば返納するつもりである」が30.5%、「家庭の事情等で運転する必要が無くなれば返納するつもりである」が29.6%となっている。

性別にみると、「身体的な衰えにより運転に自信が無くなれば返納するつもりである」が女性では79.0%で男性よりも10ポイント程度高くなっている。

問14 将来的に自主返納するつもりはあるか



問 15 返納者に対してどのような支援対策が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

「公共交通機関（タクシーを含む）の運賃割引」が 71.8%と最も高く、ついで「バスの運行範囲拡大」が 49.6%、「公共交通機関の増発」が 39.4%となっている。

性別にみると、男性・女性ともに「公共交通機関（タクシーを含む）の運賃割引」が最も高くなっている。また、女性では「バスの運行範囲拡大」が 52.5%で男性よりも 5 ポイント以上高くなっている。

問15 返納者に対してどのような支援が必要だと思うか

